

# せまる気候危機②

# いま何を 選択するのか

## 日時

11月17日（金曜）18:30～20:00（受付18時）

## 会場

大田区消費者生活センター 第4集会室  
大田区蒲田5-13-26（JR蒲田東口下車5分）

## Zoom

Zoom参加でお申込みいただいた方にアドレスをお送りいたします。

## 講師

歌川学さん（産業技術総合研究所 主任研究員）

## 参加費

800円 学生400円 定員30名

## 申し込み

<https://forms.gle/d5ZTzHeoFkPw7p1w5>

会場参加は定員となりましたら締め切りとさせていただきます。



申し込みQRコード

## 【講師紹介】

東北大学大学院工学研究科機械工学専攻博士前期課程修了。博士（工学）。著書に「スマート省エネ」（東洋書店）、『炭素排出ゼロ時代の地域散型エネルギーシステム』（日本評論社）、『エネルギー自立と持続可能な地域づくり』（昭和堂）など。

専門：温暖化エネルギー対策の技術評価・優先順位づけ・シナリオ研究。

## 地球沸騰の時代が到来した

9月9日に、「せまる気候危機。いま大田区での取り組みは」をテーマに歌川学さんの講演会を開きました。そこに参加した方々から、課題は良く分かった、では具体的にどのような取り組みを進めていくのか、第2弾を開こうとの声が上がりました。「パリ協定」の長期目標である産業革命以前に対し気温上昇1.5度以内を達成することが求められています。

大田区内で様々な省エネ対策を進め、使用するエネルギーを再生可能エネルギーへ転換する。このような対策をしっかりと進めていく事で、温室効果ガスの排出量を2030年に2013年比66%削減、2050年までにCO2排出ゼロは可能と報告されました。

## 地域で今すぐ始めることは何か

大田区の地域特性を考えた省エネ対策と再生エネルギーへの転換はどのようなものになるのか。

国や、東京都の制度をどう生かすのか。

海外や国内の他の先進地域の事例から学ぶことは何か。

2050年脱炭素社会の実現へ向けて、私たちはいま何を選択するのか。様々な視点から具体的な取り組みへとつながる方策を探ります。

## 主催 立憲パートナーズ大田の会

ボトムアップ・草の根民主政治を目指し、大田区で立憲パートナーズを中心に集まった市民グループ。迷走し混乱を極める政治に市民の声を届け、政治を変えるための地域活動に取り組んでいます。

◆情報を知りたい方は <https://cpmota.com/> ◆連絡を取りたい方は [info@cpmota.com](mailto:info@cpmota.com)

●ボランティア・メンバーを募集しています。

\*チラシを編集・作製したり配布する\*動画などを撮影編集したり発信する\*学習会・集会などを企画運営する。

◆ご興味ある方は連絡アドレスまでメールをお送りください。